

# 知れば知るほど怖いTPP

## TPPを知る講演会に反響



山田正彦元農林水産大臣・弁護士を講師にTPPを知る講演会が10月16日、砺波市出町子ども歌舞伎曳山会館で開かれました(写真上)。

会場ではパンフ「そうだったのかTPP 24のギモン」(100円)や山田正彦先生の著書「アメリカも批准できないTPP協定の内容」(1500円+税)を多くの人が購入していました(写真左)。

### あらゆる分野が深刻

★もうダメかな(批准されてしまうのでは)とも思っていたが、知れば知るほど大変なことだとわかった。貿易だけでなく、医療や金融とか、漁業や農業、土木などあらゆる分野がひどいことになる。(K生)

★「ベトナムの米が5Kg500円」に驚いた。30キロ1袋が300円だ(いま日本では7千円前後)。これでは米づくりができなくなる。(SK生)

★産地表示ができなくされると、何を食っているかわからなくなる。ある道の駅の地元産品の店で、椎茸が安いと思っ



**明るい小矢部**

No. 193  
2016年11月号

発行  
日本共産党  
小矢部市委員会  
小矢部市七社 245  
砂田喜昭  
TEL 67-4322  
FAX 67-4842

日本共産党発行  
**赤旗**  
日刊 3497円  
日曜版 823円

て産地を見たら、中国産だった。表示がなくなると、国産かどうかわからなくなる。値段の高い方が国産だと思っていたら、大間違いになる。(SS生)

★医療や薬価の問題は深刻だ。貧乏人は医者にかかれなくなる。命よりも製薬会社の利益を優先する。ニュージーランドでは医療費無料だったが、アメリカ資本の導入を認めてから株式会社病院経営に乗り出し、民間保険会社と組んで高度医療を行うようになったら、公立病院が次々とぶれて今ではどうしか残っていない。(H生)

### 9月議会

#### 砂田市議の一般質問

## TPP (環太平洋連携協定) No

#### 砂田市議

TPP協定に含まれるISD条項(投資家対国家の紛争解決条項)によって、多国籍企業の利益のために国の主権が侵される。TPPは、一部の富裕層や大企業・投資家にとって有利なルールだ。交渉や協定文作成に関与してきたのは米国の大企業やそこから政府交渉官に「転職」した人たち

と言う。(T生)

### 表現の自由が脅かされる

★著作権法のこと初めて知った。いまは著作権者が著作権侵害を訴えないと罪に問えないが(親告罪)、今度のTPPで警察の判断で逮捕できるようにする法律(非親告罪)が準備されている。反政府的な情報をネットでシェアしたり、リツイートしたりして拡散したら、逮捕されることになるのか。(H生)

### TPPを阻止しないと

#### 国の形が変わってしまう

★色々聞いていたので分かっていたつもりだったが、自分の認識が甘かった事を悟った。何としてもTPPは阻止しなければ、この国の形が変わってしまう。(H生)



### 国家が不当な企業活動を規制できなくなる

国連人権理事会が今年2月、TPP参加12カ国に「今すぐ撤退を」との緊急メッセージを送った。ISD条項では、投資家は政府を訴えることができるのに対し、政府は投資家を訴えることができない不公平なものだ。国家が不当な企業活動を規制できなくなる。

### ISD条項で国家主権が脅かされる

アメリカの大手石油企業「シエラロン」の子会社がエクアドルで環境汚染を引き起こした。エクアドル地方裁判所がシエラロンに損害賠償命令を出したところ、ISD条項による仲裁裁判所は、エクアドル政府にこの判決の執行停止を命じた。近代国家では三権分立の下、政府は裁判所の判決に従わなければならないが、仲裁裁判所は、その原則を破るようエクアドル政府に命じたのだ。

### 情報開示は強く主張していきたい

市長

桜井市長 国会の動向を注視していかなければならないが、情報開示は強く主張していきたい。

### ひろば

TPPを知る講演会で山田正彦氏がアメリカでバーニー・サンダース上院議員に来日を要請したと語ったが、是非とも会ってみたい。彼は、若い頃、選挙に負け続けながらもその情熱を失わず、ついにはアメリカ大統領予備選挙で大きな支持を獲得し、クリントンに、TPP反対を言明させた。

▼県内では政務活動費を、嘘の領収書でだまし取った自民党や民進党の議員の辞職が相次ぎ、恥ずかしい姿を全国にさらけ続けている。これに敢然と立ち向かったのが日本共産党だ。富山市議会の赤星ゆかり議員が情報公開で暴いた不正の証拠を、マスコミも大々的に報道した▼高岡市でも県議補選で高瀬あつ子氏が「嘘の証言をしたら罰すること」のできる百条委員会をつくって真相の徹底究明を訴えた。これに多くの有権者が共感し、日本共産党としてはかつてない11,201名の支持を得た。参院比例票の2.8倍、多くの保守層、自民党支持者の怒りの声も託された▼しかし、しかし、わずか79票で当選にはならなかった。悔やんでも悔やみきれない▼翌朝、高瀬あつ子氏のフェイスブックに「必ず、朝は来る」との決意を見つけ、負けても「これがないサンダース上院議員を思い起こした。彼は「選挙で提起した問題が、州の政策の変化に帰結した。低所得家庭の子どものための歯科医療の改善だ」と言った▼訴えが国民に届き支持が広がれば、例え一時の敗北でも、必ず政治を変えられる。不正・腐敗の上に成り立っている安倍暴走政治を正し、国民の声を受け止める政治の実現へ、たゆまぬ歩みを続けよう。